

公共施設あり方検討の取り組みをお知らせします③

市内の公共施設は、経年による老朽化、市民ニーズの変化など、さまざまな課題を抱えています。かぎられた財源、資産をより有効に活用していくため、「高浜市公共施設あり方計画」の策定を進めています。

今回は、平成24年度に高浜市公共施設あり方検討委員会より提出された「公共施設マネジメント基本方針」で示されている、将来に向けた公共施設のあり方に対する大方針やこの大方針を実現するための基本的な考え方についてお知らせします。

大方針「高浜市の次世代に向けた公共施設マネジメントの確立・発信」

この大方針を実現するための基本的な考え方は、以下のとおりです。

基本的な考え方① 高浜市の地域特性を反映した公共施設マネジメント

①小学校区の特徴

高浜市では、小学校区を単位としたまちづくりを進めています。長期的な視点に立ち、地域の特性を踏まえた公共施設のあり方を検討します。

②地域による人口動態の差異

高浜市の将来予測人口は、その増減が地域ごとに違いがあります。この地域の人口構成を踏まえた公共施設のあり方を検討します。

③地勢を考慮した再配置

高浜市は、臨海部に位置し、海岸部の一部では標高が約2mの低地や埋め立てにより造成された場所があります。防災上の観点から、標高や地質など高浜市の地勢を考慮した公共施設のあり方を検討します。

④周辺地域との連携(衣浦東部広域行政圏、衣浦定住自立圏)

高浜市では、衣浦東部広域行政圏、衣浦定住自立圏をはじめとした近隣市との相互連携を進めています。今後、さらなる近隣市との連携を踏まえながら、市民の利便性の向上をめざした取り組みを検討します。



基本的な考え方② 新たな取り組みによる公共施設マネジメント

①すべての公共施設を対象

高浜市が保有または借用している土地に建っているすべての公共施設を対象とします。ただし、道路、上下水道など社会的インフラを除きます。

②トップマネジメントによる推進

組織の縦割りを越えて、総合的・長期的な視点で検討するための職員プロジェクトなど、全庁を挙げて横断的な推進体制を整備します。

③数値目標を明示

公共施設の現状や実態を把握するとともに、利用頻度に対する目標を数値で明示し、進行管理を行います。

④財政との連動

公共施設の将来コストの試算・財政推計との連動を考慮しながら、財政負担の軽減と平準化などに向けた取り組みを検討します。

⑤モデルケースを推進力とする

公共施設の機能に応じた今後の方向性を具体化するため、公共施設の中でモデルケースを取り上げ、市民の皆さんとの合意を含めたあり方を作成、その検証を行い、それを他の施設への推進力とします。

⑥市民の皆さんと問題意識を共有・協働

高浜市公共施設マネジメント白書の作成により、市民の皆さんと問題意識を共有し、市民の皆さんがサービスの受益者という立場だけでなく、行政とともに知恵を出し合っ、公共施設のあり方を検討します。

